

総務文教委員会記録

○開催日時

平成25年9月24日 午後1時31分～午後3時19分

○開催場所

第2委員会室

○出席委員（7人）

委員長	福元光一	委員	成川幸太郎
副委員長	徳永武次	委員	下園政喜
委員	杉藺道朗	委員	森満晃
委員	川添公貴		

○事務局職員

事務局長	田上正洋	議事グループ長	瀬戸口健一
議事調査課長	道場益男	議事グループ専門員	久米道秋
課長代理	南輝雄	議事グループ員	上川雄之

○審査事件等

- 1 委員長の辞任許可
 - 2 委員長の互選
-

△開 会

○副委員長（徳永武次） それでは、委員会条例第12条第1項の規定により、委員長に代わって職務を行います。

ただいまから、総務文教委員会を開会いたします。

さきほど川添委員長から、委員長の辞任願が提出されましたので、この件について審査をお願いします。

では、辞任願を委員に配付させていただきます。

[辞任願の写しの配付]

△委員長の辞任許可

○副委員長（徳永武次） それでは、委員長の辞任許可を議題とします。

本件については、川添委員長から副委員長に対して、委員長の辞任願が提出されており、一身上の理由により委員長を辞任したいとのことです。

ついては、辞任許可についてお諮りします。

願ひ出のとおり、委員長の辞任を許可することに、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（徳永武次） 御異議なしと認めます。

よって、委員長の辞任を許可することに決定しました。

それでは、ここで、川添委員に着席を求めます。

[川添公貴委員着席]

○副委員長（徳永武次） 川添委員が着席されました。

川添委員に申し上げます。

ただいま、委員長の辞任が許可されましたので、お知らせします。

ここで、川添委員から発言を求められていますので、これを許します。

○委員（川添公貴） 1年間、皆様方の協力のもと運営できたことはありがたく思っております。

残りについては、一委員として皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、重ねて申し上げますけど、たいへん貴重な時間等を申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

ありがとうございました。

○副委員長（徳永武次） これで、委員長の辞任許可を終わります。

△委員長の互選

○副委員長（徳永武次） 次に、委員長が欠員となりましたので、これより、委員長の互選を行います。

互選の方法は、指名推選又は投票となりますが、いずれの方法によるかお諮りします。

○委員（福元光一） 推選か記名投票かということでもありますけど。その前に、議運が開かれて、むつみ会の幹事長が帰ってきて。どうするかは、むつみ会の考えがありまして。ここでちょっと休憩をとっていただいて。それぞれ思惑もあると思いますから、どうでしょうか。

○副委員長（徳永武次） 協議会に切り替えます。

~~~~~

午後1時36分休憩

~~~~~

午後1時36分開議

~~~~~

○副委員長（徳永武次） 本会議に返します。

選挙に入っているので、持ち帰りはできないということです。

ほかにありませんか。御異議ありませんか。

○委員（成川幸太郎） 仮に指名するにしても、選挙をするにしてもなんですが、その場合に今現在代行してもらっている副委員長も含めて、当然対象にしているということですか。

○副委員長（徳永武次） はいそうです。

○委員（福元光一） 事務局にお尋ねしてみますけど。選挙に今入っているからということなんですけど、委員長のほうから、これから選挙にすぐ入っていいですかとか、時間が必要ですかという、委員に対しての打診とか、そこは必要はないんですか。

○議事調査課長代理（南 輝雄） 基本的には、委員長が欠員になっていますので、すぐ互選に入るというのが一般的であります。すでに副委員長のほうの発言で委員長の互選に入っておりますので、もう選挙に入っているということでもあります。以上です。

○副委員長（徳永武次） 御理解していただきましたか。

○委員（福元光一） 言われることは分かりますけど、委員長が今欠員で、副委員長が代理でやっておられるんですけど、欠員だからといってすぐ

選挙に入っているんですかと。委員に対して、今から選挙に、どうですかと、そこはひとこと必要じゃないんですかということなんです。

○議事調査課長（道場益男） 厳密に解釈するか、柔軟に解釈するか、解釈の話になってくると思います。

最初書記が申し上げました、選挙に入ってますといった部分ですけども。確認しますと、委員長が欠員となりますので、これより委員長の互選を行います、と宣告があったということで、南代理のほうは、選挙に入ってますから、ちょっと休憩をとれませんかというような発言したんですけども、解釈によってはぎりぎりセーフというような解釈もとれるというような説もあります。したがって、休憩をここでとるのか、とれないのかというのは、再度委員で御確認いただければと思います。以上です。

○委員（福元光一） いま説明があったのは、委員長代理のほうから、これから選挙に入りますという事前のことを私は言ってるんです。だから、選挙に入りますという事前のことを今説明されたと思います。それは御協議願いますということだと思いますから、副委員長は、そこでもと返って、みんなに。よろしくをお願いします。

○副委員長（徳永武次） いま説明があったとおり欠員による互選の方法を指名推選、投票と、これを撤回しまして、もういっぺんお諮りしたいと思います。

委員長が欠員ということですので、この取り扱いをどうしましょうか。

○委員（下園政喜） 私も、ちょっと休憩していただいて、持ち帰って協議をしてきたいと思います。よろしくをお願いします。

○副委員長（徳永武次） 今持ち帰り協議という話が出ておりますけども、ほかにございませんか。

○副委員長（徳永武次） では、休憩して協議を行ってください。

それでは、互選に入ったことを取り消して、いまから休憩して。取扱いを、していきたいと思えます。以上です。

○委員（杉藺道朗） いま御意見がございましたので、それは委員会として尊重するというものですから、いまから若干休憩をもつと。ただ休憩の後には、また本会議が始まりますので、あくまでも選挙において、指名推選もしくは投票になるの

かという部分での協議を、今からされるということと理解しているんですね。

○副委員長（徳永武次） それでいいですか。  
[「はい」と呼ぶ者あり]

○副委員長（徳永武次） それでは、今から休憩に入ります。

~~~~~  
午後 1 時 4 2 分休憩
~~~~~  
午後 3 時 1 3 分開議  
~~~~~

○副委員長（徳永武次） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

それでは、委員長に欠員に伴い、これより、委員長の互選を行います。

互選の方法は、指名推選又は投票となりますが、いずれの方法によるかお諮りします。

○委員（杉藺道朗） 指名推選でお願いします。

○副委員長（徳永武次） ただいま指名推選の声がありますので、ここでお諮りします。

委員長互選の方法は、指名推選によることで御異議ありませんか

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（徳永武次） 御異議なしと認めます。

よって、委員長互選の方法は、指名推選によることに決定しました。

それでは、どなたか指名推選をお願いします。

○委員（杉藺道朗） 福元光一委員を推選いたします。

○副委員長（徳永武次） ただいま杉藺委員より、委員長に福元委員をとるの推選がありましたが、この指名推選のとおり福元委員を委員長互選の当選人と定めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（徳永武次） 御異議なしと認めます。

よって、福元委員が委員長に当選されました。

福元委員に当選の旨を告知します。

それでは、委員長の互選が終了しましたので、委員長の職務を終わらせていただきます。

御協力ありがとうございました。

ここで、委員長より就任の御挨拶があります。

委員長は、委員長席にお着きください。

[福元光一委員長、委員長席に着席]

○委員長（福元光一） ただいま、委員の皆様方から、総務文教委員会の委員長ということで推選

いただきまして、私も少し戸惑っている部分もあります。といいますのも、去年10月選挙があったから、川添委員長のもとで、総務文教委員会も難なく進行できておったと思いますけども、川添委員長の個人的事情で委員長職を辞任されまして、私に推選いただきました。これから1年くらいだと思いますけど、総務文教委員会の委員長として、川添委員長の今まで計画されておられました案件もございしますが、前委員長に、分からない点は話を聞いて進めていきたいと思っております。また、当局に対しては、委員会がありましたときに、改めて挨拶を申し上げます。

そして、徳永副委員長は川添委員長を今まで補佐してこられたんですけども、今度は委員長が私に代わりましたので、徳永副委員長にも一言。皆さんがよければ、委員長に対しての副委員長の気持ちも承りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○副委員長（徳永武次） 私自身、1年間弱でしたけど、川添委員長を微力ながら支えてきたつもりであります。今度は福元委員長をしっかりと肩車に乗せて、がんばっていききたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員長（福元光一） それでは、副委員長の力強い、委員長を補佐していくというお言葉もいただきましたので、私も委員の方々の協力を得ながら、今後また総務文教委員会を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

△閉 会

○委員長（福元光一） 以上で、総務文教委員会を閉会します。

委員の皆様は御協力ありがとうございました。

薩摩川内市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会総務文教委員会

委員長 福元光一

副委員長 徳永武次